

由来

「願人」とは下級山伏・修験僧のこと。願人踊は、伊勢、熊野信仰の普及のため、村廻りの芸人となり日本各地に歌や踊りを広めた願人坊主が伝えた踊りである。祭典行事として踊られていたが、天明のころ伊勢参宮より戻った羽立の村井金之丞が元来の踊りに伊勢音頭の手踊りを組み入れ、現在の願人踊になったとされる。明治に入ると歌舞伎・仮名手本忠臣蔵（五段目）を題材にした定九郎と与市兵衛によるユーモラスな寸劇が加えられた。その後、度重なる戦争や敗戦後の祭典統一により願人踊は消え去ったかに見えたが、昭和33年に一日市郷土芸術研究会が保存に乗り出し、以後、毎年5月5日に一日市神社に奉納されるようになった。



寸劇あらすじ

娘の身売りで得た大切な金を懐に抱え帰路につく与市兵衛。その様子を物陰から見ていた山賊の定九郎は与市兵衛に声をかける。あの手この手の強引な駆け引きで与市兵衛から金を巻き上げようとする定九郎であったが、大切な金を渡すまいと与市兵衛もしたたかに応戦し、その場を凌ごうとするが…。



子供願人踊

一日市郷土芸術研究会では願人踊の継承を目的に約30年前から八郎潟小学校の児童（希望者）を対象に教室を開催している。祭典の2か月前から練習を開始し、5月5日の本番を迎える。最近では女子も積極的に参加している。厳しい練習を経た子どもたちの踊りは本格的で、見応え十分！



はちろうがたガイドマップ HACHIROGATA GUIDE MAP

交通のご案内

■鉄道利用

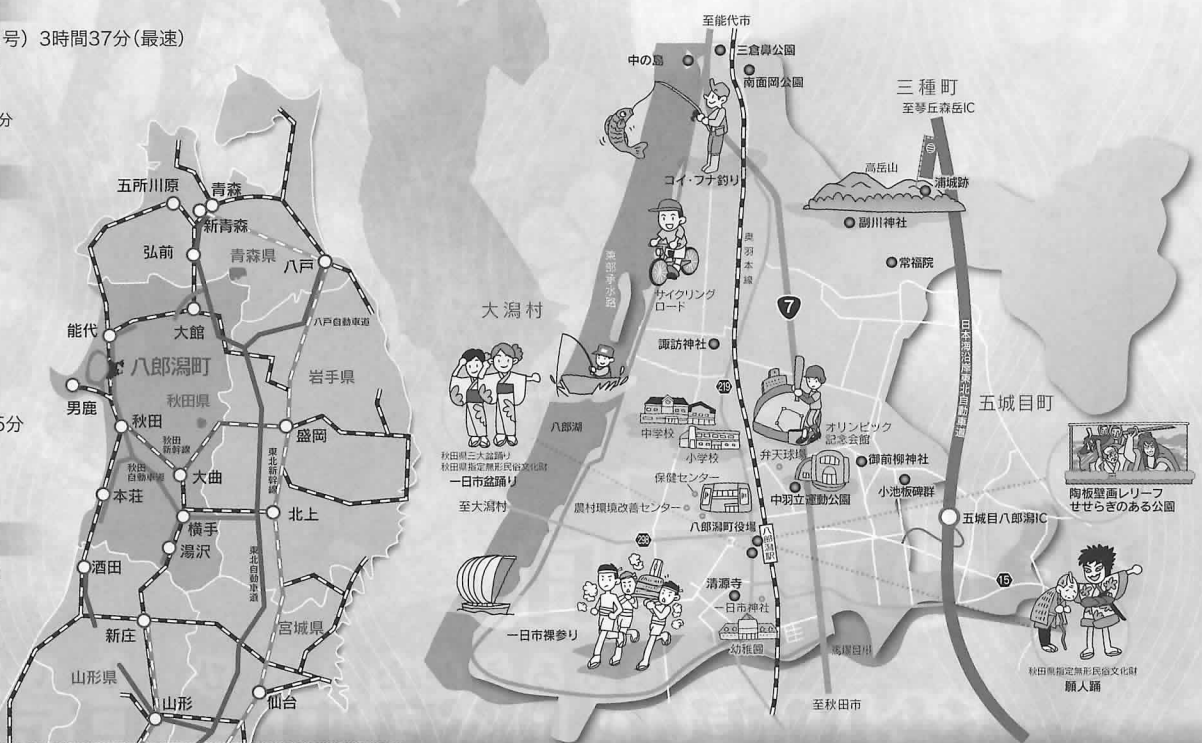
- ・東京～秋田(秋田新幹線こまち号) 3時間37分(最速)
- ・秋田～八郎潟(奥羽本線) 34分
- ※あきた北空港到着後、鷹ノ巣～八郎潟(奥羽本線) 53分

■飛行機利用

- 秋田空港利用時
 - ・札幌～秋田空港 55分
 - ・東京(羽田)～秋田空港 60分
 - ・大阪～秋田空港 80分
 - ※秋田空港～秋田駅(リムジンバス) 40分
- あきた北空港利用時
 - ・東京(羽田)～あきた北空港 65分
 - ※あきた北空港～鷹ノ巣駅(リムジンバス) 10分

■高速道路利用

- 東北自動車道～秋田自動車道
 - ・川口JCT～北上JCT～横手IC～五城目八郎潟IC(7時間30分)



お問い合わせ

秋田県八郎潟町観光協会(八郎潟町役場産業課内)

TEL 018-875-5803 FAX 018-875-5950